

<赤字部分はすべて記入してください>

特別支援教育就学奨励費にかかる収入額・需要額調書(兼委任状)

記入例 1

県立〇〇 **自署の場合、押印不要**

現在の学年を記入

下記のとおり収入額・需要額調書を提出します。また、就学奨励費の請求及び受領に関する権限を学校長に委任します。

(整理番号)No.

保護者氏名・押印 鳥取太郎		住所 〇〇市〇〇町233		幼児・児童・生徒氏名 鳥取一郎		学校名、学年等 鳥取県立〇〇学校 小学部第5学年		※都道府県の地区別区分 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ) 地域の級地区分 { 1-1、1-2、2-1 2-2、3-1、3-2 }		学校長認印	
世帯の収入状況 ☆給与所得、公的年金等所得のいずれかが ある者については、総所得額から10万円を 控除する。		世帯の状況(前年12月末日現在)									
		氏名		生年月日 (満年齢)		在学学校名・学年 (特別支援学級通学の有無)		個人別総所得額(給与所得 又は公的年金所得の有無)		通学	
所得 控除 前 の		総所得金額		円 鳥取太郎		昭和46年7月21日 (41 才)		□給与所得有 □公的年金有		円 円 円 円 円 円 (基準額)	
		退職所得金額		円 花子		昭和47年4月20日 (40 才)		□給与所得有 □			
		山林所得金額		円 一郎		平成14年8月11日 (10 才)		□給与所得有 □			
		計		A		平成15年12月3日 (9 才)		□給与所得有 □			
所得 控除		社会保険料		円 三郎		平成20年6月11日 (4 才)		□給与所得有 □			
		生命保険料		円 鳥夫		昭和15年10月9日 (72 才)		□給与所得有 □公的年金有			
		損害保険料		円 取子		昭和18年11月1日 (69 才)		□給与所得有 □公的年金有			
		ひとり親又は寡婦控除の 額 ※保護者等のみ		円		(才)		□給与所得有 □公的年金有			
		計		B		(才)		□給与所得有 □			
所得額(A-B)		C		※		(才)		(有・無)		円	
所得月額(C×1/12)		D		※		(才)		(有・無)		円	
障害者加算控除 (保護基準により算定)		E		※		(才)		(有・無)		円	
収入額(D-E)		F		※		合 計		a ※ b ※ c ※ d		円	
通学費 明細		(通学費を要した者ごとに記入すること)						特記事項 生活保護世帯 該当 非該当		支弁区分 □Ⅰ区分(令第2条第1号該当) □Ⅱ区分(" 第2号該当) □Ⅲ区分(" 第3号該当)	

現在の住所を記入。
ただし、令和6年12月31日時点の住所が異なる場合は、
令和6年12月31日現在の住所も()に記入。

現時点で同一生計となる家族全員を記入(同居、別居を問わない)
*ここに記入された方全員の所得・課税の証明が必要になります
年齢、学校名、学年は令和6年12月31日現在のものを記入して
ください

昨年度(R6年度)の学校名、学年を
記入(兄弟についても記入)

特別支援学級 通学の有無について、該当する方に○印

該当する方に○印

(注) 1. 支弁区分欄は、特殊教育学級の場合は、収入額が需要額の2.5倍未満の者はⅡ区分、2.5倍以上の者はⅢ区分として処理すること。
2. 特記事項欄は生活保護等の該当事項を記入すること。
3. 整理番号は個人別支給台帳の番号に合わせること。